

28日機輸総企第140号
平成28年9月6日

組員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持治彦

JMC 海外危機管理セミナーの開催について
ー外務省邦人援護官による海外危機対応シナリオ訓練ー

平素より組員の皆様には日本機械輸出組合の運営に大変お世話になっております。

さて、昨年11月のパリ同時多発テロ、本年3月のベルギー連続爆発テロ、7月のバングラディシュ外国人襲撃テロ、7月のトルコクーデター未遂、更には、南米から各国に拡大しつつあるジカ熱の脅威など、組員企業にとって社員の安全対策を強化すべき要因は増大し、海外危機管理は喫緊の課題となっております。

海外で危機が発生した場合に企業はどのような対応をすべきか、どのような課題があるのか、外務省および現地日本大使館・総領事館はどのように対応するのか等について、様々な具体的事例をもとに一緒に考え、企業として適切に対応ができるようにしていただくため、下記のシナリオ訓練セミナーを開催いたします。

企業の海外危機管理担当者様にとって、具体的事例を踏まえた実践的な有益なセミナーとなっておりますので、是非、御社の危機管理担当者を中心に、危機管理体制強化にかかわる方およびシナリオ訓練に関心のある方のご参加を期待しています。

記

1. 日時 平成28年10月13日(木) 14:30～16:30
2. 場所 機械振興会館 B2-1会議室
東京都港区芝公園3丁目5番8号(機械振興会館地下2階)
アクセス(下記URLの地図参照)
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>
3. 参加費 無料(組員限定)
4. <講師> 外務省領事局海外邦人安全課 邦人援護官 伯耆田(おきだ) 修氏
<コメンテーター> 安全サポート(株) 代表取締役 有坂 錬成氏
5. 内容
海外危機対応に関するシナリオ訓練(グループ分け)
 - ・シナリオ 安否確認、国外退避、被災者家族対応、感染症、武装襲撃テロ、自然災害などをテーマにしたシナリオと共に対応策についての質問事項をご提示
 - ・グループ分け 参加者を5～6人ずつにグループ分け
 - (1) グループごとにシナリオの質問事項について討議(15～20分程度)
 - (2) グループごとに討議内容を発表
 - (3) 他のグループからコメント
 - (4) 外務省領事局 伯耆田援護官からコメント、対応策のポイントを説明、外務省・在外公館の対応ぶりを紹介。安全サポート(株)有坂氏から必要に応じてコメント。

6. プロフィール

〈講師〉 外務省領事局海外邦人安全課 邦人援護官 伯耆田修氏

外務省の海外緊急展開チームの一員。アルジェリアにおける武装組織のガスプラント襲撃事件、フィリピン大型台風、ネパール大地震、ダッカ襲撃テロ事件等の際に現地に出張し対応。

〈コメンテーター〉 安全サポート㈱ 代表取締役 有坂 錬成氏

損害保険会社出身。2005年に安全サポート㈱を設立。主な活動は、海外危機管理に関するマニュアル作成、コンサルティング、危機対応アドバイス、講演活動など。今年度、外務省との共催による海外進出企業向け「安全対策セミナー」講師。

7. お申し込み方法

【定員】 50名（先着順）

【参加費】 組合員限定・無料

お申込みは、お手数ですが、当組合HPの「セミナーご案内」（下記URL）からお願いいたします。恐縮ですが、平成28年9月30日（金）までにお申し込み頂ければ幸いです。

<http://www.jmcti.org/jmhomepage/semminar/index.htm#support>

HPからの申込が難しい方は、Eメール (yokozeki@jmcti.or.jp) でご連絡下さい。

- ・参加費は無料です。
- ・受講券等はお送りしませんので、当日、会場受付で名刺をご提出下さい。
- ・定員になり次第、恐縮ですが締め切らせていただきます。

（本件問合せ先）

日本機械輸出組合 総務企画グループ 横関、金丸

TEL:03-3431-9507 E-Mail: yokozeki@jmcti.or.jp

以上